

重点事業とSDGsの取り組み

本学園の建学の精神「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」と使命-ミッション「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する豊かな愛情と科学的知性を備えた心身共に健康な人間を育成」することを基本に、各設置校の使命-ミッションを着実に実現するため、「教育・研究」「地域貢献」「入学者確保」「国際化」「情報化」「経営基盤」といった6つの重点戦略ビジョンを設定しました。また、「国連持続可能な開発サミット」で採択された持続可能な開発目標（SDGs）は、「悠久不滅の生命の理想」の精神にも大きく重なり、関係すると考えられ、その目指す方向性は、「教育」「不平等」「持続可能な都市」「平和」「実施手段」など多くの分野において共通する部分があります。

中期計画の中間地点である令和6年度に、前期3年間の進捗状況を確認し、後期3年間での達成を目指して、事業の選択と集中を図り、焦点化した計画へ再構築しました。本学園では、保護者などのステークホルダーと連携・協働しながら、本計画に掲げる23の施策・事業を着実に推進することにより、SDGsの目標達成に貢献してまいります。

1 教育・研究

（1）大学・短期大学部

- ・学生の成長実感・満足度を高める教育の推進

IR分析を基にしたPDCAサイクルにより、学生の成長実感・満足度を高める教育を推進する。

- ・学生の自己実現のためのキャリア支援

学生の成長実感・満足度を高めるようなキャリア支援を実施するため、学科のキャリア教育とキャリアセンター事業の連携と充実を図る。

- ・学修者本位の教育課程・教授内容の体系化

学生の成長実感が深まり、学修の満足度が高まるよう、学修者を主体とした教育課程を体系化し、主体的な学びを推進及び再構築する。さらに、授業内容の体系化に取り組む。

- ・学生生活の充実

クラブ活動の活性化、及び学生ボランティア活動の支援体制の整備等により、学生生活の充実と満足度の向上を図る。

- ・教学マネジメントの確立による質保証

毎年実施する自己点検評価の結果に基づき、教学マネジメント体制のもとで教育研究の改革・改善に継続的に取り組む。

（2）高等学校・中学校

- ・学活・総合的な探究の時間の再編成

学活・総合を土曜日にまとめて実施（例：1・2限 学活 3・4限 総合）することで、校外での学びを容易にし、大学や企業、地域と連携した大胆な学活・総合の指導計画を策定する。生徒が海外の国々の諸問題を探求的に学び、その上で自分たちに何ができるか考え、実践する時間としても活用する。

- ・魅力ある中学体験学習・研修旅行・修学旅行の検討

本校の教育内容とリンクさせた中学体験学習及び研修・修学旅行の在り方を検討する。

（3）幼稚園

- ・教育の特色

本園の特色である豊かな自然環境での教育、体験活動、大学・短大施設を利用したイベントを実施し、教育の特色を充実させる。



2 地域貢献

(1) 大学・短期大学部

- ・地域と連携した教育・研究活動の推進

地域と連携した実践的活動により、

- ①学生の地域課題に関する理解促進と課題解決能力の育成
- ②地域と密着した研究の推進、及び地域貢献を通じた大学への評価の向上を実現する。



3 入学者確保

(1) 大学・短期大学部

- ・入学者選抜の検証と改革

入学者選抜の妥当性を継続的に検証し、入学者選抜方法の見直しと実施に向けた準備を行う。

- ・入学定員確保のための広報活動の強化

広報活動の拡充や教育・研究コンテンツの制作による情報発信など、効果的な募集広報活動を実施して接触者数増をめざすとともに、接触者の本学への志望度を維持するよう継続的な情報発信を行う。

(2) 高等学校・中学校

- ・比治山サポートルームの設置

不登校傾向・保健室登校の生徒を対象に、授業をライブ配信することで学習支援を行う比治山サポートルームを設置する。

- ・広報活動の強化

地域への比治山ブランドの確立

- ①地域の活性化と社会貢献を図るため、「ひじやまセミナー」を充実させる。
- ②小中学校グループの児童生徒に対して、また地域団体に対してクラブ部員の派遣事業を展開する。
- ③比治山の魅力を発信する。
- ④地域に対して主体的に考え行動する生徒を育成する。

(3) 幼稚園

- ・入園定員充足のための広報強化

未就園児を対象とする子育て支援事業の充実を図り、継続的に広報を行う。幼稚園の教育活動の見える化を充実させ、広報活動の強化を行う。



4 国際化

(1) 大学・短期大学部

・国際教育の推進

身近な環境を国際化することで，異文化理解や留学を学生に意識させる。学内に外国人講師を常駐させるなど大学生活を通じて身近に国際教育が受けられる環境を整備し，学生の主体的な学びへとつなげる。



5 情報化

(1) 大学・短期大学部

・ICT 活用による教育の改善

学生個々の ICT 活用能力を高めるための基盤整備を行う。対面，遠隔授業における質向上，学内プラットフォームの構築などに取組む。

(2) 高等学校・中学校

・ICT を利活用した個別最適化学習の推進

生徒一人ひとりの個性や能力，適性に応じた指導の充実を図るため，個別最適化学習アプリを全校生徒に導入する。

・効果的な教育ソフトウェアの導入と ICT 機器の整備

ICT ツールであるグループウェアの見直しを図るとともに，基盤システムである学籍ソフト，学籍サーバーや，職員室，CAI 室の PC，教員用・予備 iPad を更新する。



6 経営基盤

(1) 大学・短期大学部

・大学・短期大学部の教育組織の見直し

社会のニーズや時代の要請に対応した大学各学部・学科及び短期大学部各学科の改組・再編等，将来構想の具現化を図る。

(2) 高等学校・中学校

・生徒減少に対応した今後の学校の在り方検討

少子化の進行や生徒の多様な個性や特性に的確に対応した中高一貫教育を実現するため，入学者選抜や学校規模等，将来構想の具現化を図る。

(3) 幼稚園

・今後の幼稚園の在り方検討 保護者のニーズに対応した施策の推進

配信サービスシステムを利用し，保護者に対する教育内容やイベント情報等の即時発信を拡大する。また，保護者から要望がある課外事業やサービス事業の実施及び改善を行う。

(4) 学園

・財務基盤の強化

各学校・園の教育研究活動を持続可能なものとするため、学園の全ての部門において、徹底した事業見直しの実施等による収入増加策，支出抑制策を実行し，収支バランスの改善を図ることにより，学園財政の健全化を進め，財務基盤を強化する。

・財務基盤の強化に向けた情報化施策の推進

学園の最重要課題である財務基盤の強化に資するため，ICT 基盤を効果的に活用し，業務 DX や AI の活用等の学園全体の運営経費削減や業務効率化につながる情報化施策を推進する。

